

他者と協働しながら社会の課題と向き合う

新しい社会の創り手を育むために

学びの
「新しい当たり前」
を共に創る

2024年7月30日（火）

信州学び円卓会議からのメッセージ

- 本日のメッセージは、
信州学び円卓会議のこれまでの議論を取りまとめたものです
- 県民の皆様、また取組主体となる関係団体の皆様におかれては、
学びの「新しい当たり前」を共に創るために、
また、「こどもまんなか社会」の実現のために、
それぞれの立場で考え、様々な主体と協働し、
皆で実現に向けた取組を進めていきませんか。
- 知事と教育長におかれては、先頭に立って取り組んでいただく
ことを期待いたします。

これまでの「当たり前」

学校において、同じ教室で、同じ年齢の子と、同じ内容を、同じペースで学んでいる。

多くの子どもたち、そして、私たち大人がイメージする学びの風景の「当たり前」ではないでしょうか？

私たち「信州学び円卓会議」では、

「長野県の子どもたちにとって最適な学びのあり方」について議論を重ねるとともに、
児童・生徒、学生、先生、保護者、地域の皆さんなど、様々な学びの関係者と意見交換を行ってきました。

「学校は、自分の好きをとことん突き詰める場所であってほしい」

「学校は、安心・安全で自分を受けとめてもらえる場所であってほしい」という子どもたちの声。

「子どもたちといっしょに、遊ぶように、楽しく学び合いたい」

「一人ひとりの子どもを起点とした学びの支援者でありたい」という先生たちの声。

これまでの「当たり前」をもっと良くしていくための様々な声が聞かれました。

先人たちが築いてきた信州教育

明治以降、「長野県は教育県」と全国から高い名声を受けてきました。

その背景には、全国に先駆けて、学校の施設整備に取り組んだことや就学率の向上を推進したことのほか、教育界に人材を求め教員を厚遇するという決断と、その実現を支えた多くの県民の熱意と努力がありました。

子どもの問いや発見を、学びの中心に据える。

子どもの姿から、教師が学ぶ。

子どもと共に、教師も成長する。

信州教育は、「子どもの事実」に心を寄せて、学びに真摯に向き合い、子どもと教師が、共に学び、共に育つ場を丁寧に紡いできたのです。

このような先人たちの取組は、

教育に対する教師の使命感と熱誠、そして、県民の熱意によって支えられてきました。

学びに誠実に向き合うこと。

この伝統は、今も長野県に息づいていると私たちは信じています。

今こそ、教育や学びのあり方を転換させる時

地球規模の気候変動に伴う災害の激甚化・頻発化と激変する国際情勢。

少子高齢化やデジタル技術の急速な進展。

社会の複雑化と子どもが抱える困難の多様化。

今こそ、子どもを主語にして、一人ひとりが自分の個性や可能性を認識でき、
多様な他者を尊重し、共に協働しながら、持続可能な社会を創っていくことが求められています。

学びの「新しい当たり前」を共に創る

2023年4月、「こども基本法」が制定されました。この法律は、こどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組を日本社会の真ん中に据えて、強力に進めていくために定められたものです。

すべての子どもは、かけがえのない存在です。

しかし、私たち大人は、「子どものため」と言いながら、

大人の都合を子どもに押し付けてきたことはなかったでしょうか？

子どもたちが考えていること、やりたいこと、悩んでいることに、真摯に耳を傾けてきたでしょうか？

先人たちが築いてきた「信州教育」は、「子ども」を主人公にしたものであり、一人ひとりの教師が、教育という営みに主体的に関わってきたものでした。

学びの中心に、子どもがいる。

一人ひとりの違いを、互いに尊重する。一人ひとりの個性が輝いていく。

「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求していく。

子どもが子どもらしく、幸せな子ども時代を謳歌していく。

そして、他者と協働しながら、社会の課題と向き合っていく。

新しい社会の創り手を、共に育み、支えていく。

このような「新しい当たり前」を共に創っていきませんか？

信州学び円卓会議は、次の「取り組むべき方向性」と「重点取組項目」を提案します。

ま

学びの主人公を「子ども」に

な

長野県の学校・先生の
チャレンジを支える

び

ビジョンをもとに
つながり、広げる

- 1 子どもたちが学校等でやりたいことを支える
- 2 教員が学校等でチャレンジしたいことを支える
- 3 一人ひとりの学びや得意を共に認め合う仕組みを検討する
- 4 長野県の中山間地域の強みを活かした特色ある学びを広げる
- 5 「こどもまんなか社会」の実現に向けた様々な機関の連携・協働を進める
- 6 多様な学びの場を信州全体で支えるネットワークを再構築する

1

子どもたちが学校等でやりたいことを支える

一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求する学びを後押しをしていきましょう！

他の学校や地域で取り組んでいるモデルとなる学びを
広く共有していきましょう！

子どもたちの思いを受け止め、自分らしく学べる環境を育てていきましょう！

2

教員が学校等でチャレンジしたいことを支える

社会の変化とともに、学校・先生に求める役割が拡大しています。

学びの伴走者として、教育活動に十分に力を発揮できる環境を整えていきましょう！

持続可能な学びを実現していくために、働き方改革を進めていきましょう！

学校の先生・支援人材の採用・配置・異動のあり方を検討していきましょう！

先生・支援人材の学びを支えていきましょう！

「次世代の先生」を共に支えていきましょう！

3

一人ひとりの学びや得意を共に認め合う

仕組みを検討する

長野県環境は、もっと豊かな学びを構想・実現していける可能性を秘めているのではないのでしょうか。

子どもをまんやかに、多様な学びを互いに認め合う評価のあり方や自分の強みや得意な分野を活かして
チャレンジできる仕組みを検討していきましょう！

山村留学やフリースクール、インターナショナルスクールなど、長野県らしい様々な学びの場があることへの理解を深めていきましょう！

4

長野県の中山間地域の強みを活かした 特色ある学びを広げる

人口減少・高齢化の進展に伴い、
小規模町村が多い長野県では、
中山間地域の学びのあり方の検討が急務となっています。

中山間地域発の自由で柔軟な学びを共に創造していきましょう！

5

「こどもまんなか社会」の実現に向けた 様々な機関の連携・協働を進める

全ての子どもたちが健やかに成長していくためには、
社会全体で子どもを育てていくことが重要です。

家庭、地域、学校、行政など様々な機関が対話を重ね、
子どもの成長を共に支えていきましょう！

幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校、大学、さらにはフリースクールなど、
こどもの育ちに応じた学びの場同士の連携を深め、
多様な学びに対する理解を深めていきましょう！

6

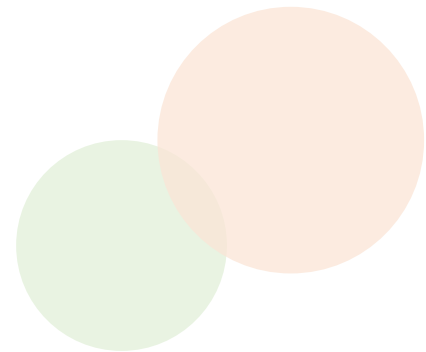
多様な学びの場を信州全体で支える ネットワークを再構築する

様々な社会課題に直面している現在において、
ひとつの自治体や学校による対応では限界があります。

あらゆる地域・社会資源を共有し、
子どもの学びのネットワークを再構築していきましょう！

地域・社会資源（自然・歴史・文化・人材）を
学びに積極的に活用していきましょう！

市町村という行政区域を越えて地域・社会資源を共有し、
学びの質を向上させていきましょう！



未来社会を創る子どもたちへ

信州の新しい学びを届けよう